

作成日：2026年5月20日

自己点検評価報告書

学校法人 大阪文化服装学院

ヴォートレイル ファッション アカデミー

■ 評価基準について

自己点検評価は、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン（令和8年3月）」に基づき、下記の3段階で評価しています。

評価3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている

評価2：概ね基準を満たしている

評価1：基準を満たしておらず改善が必要

【項目1】 教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	自己点検 評価	エビデンス等	状況説明 課題及び今後の改善方策等
1.教育理念、 目的及び目標 の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての 目的及び目標を明確に設定し、養成する人材 像を明確にしていること。	3	プレスリリース、HP、教職員会 議資料、理事会議事録、学生支援 者会資料、始業式資料、保護者会 資料	基準を満たしている。2026年4月1日、学校 名を大阪文化服装学院から「ヴォートレイル ファッション アカデミー」へ変更するにあたり、 新たな経営方針、教育理念、ビジョン、 教育方針、育てたい人物像を再設定し、すべ てのステークホルダーに発信。 今後は、再設定した理念や育てたい人物像を 教職員はじめとしたステークホルダーに定 着・浸透させ、当校独自の強みを発揮できる 教育機関へと進化させていきたい。

【経営理念】

クリエイションの力で、社会に「喜び」「自信」、そして「上昇気流」を。

【教育理念】

「Vogue」＋「Trailblazer」

常に変わりゆく世の中において、時代の「開拓者」「先駆者」となるトレンドセッターを創造する。

【ビジョン】

アジアで比類なき成果をあげ、世界にその名を刻む孤高のファッションスクール

【教育方針】

深層探求⇒概念化⇒言語化

【育てたい人物像】

「自問自答」し続ける 「既視感」を超える 「可能性」を追求する 「固有の世界観」を語る 「自分の軸」で生きる

【項目2】教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	自己点検 評価	エビデンス等	状況説明 課題及び今後の改善方策等
1.教育課程の 編成と授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	2	職業実践専門課程等の基本情報 (別表様式4)、学則、学則別表、学校案内パンフレット、HP、シラバス	概ね基準を満たしている。教育課程編成・実施方針については、新たな教育理念や育てたい人物像をベースに、26年度中に再作成し公開したい。
	②外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を10単位以上開設していること。	—		外国人留学生キャリア形成促進プログラムの認定を受けていないので、評価項目対象外。
2.教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3	職業実践専門課程等の基本情報 (別表様式4)、学則、シラバス、成績評価基準	基準を満たしている。授業科目内容に応じて適切な授業形態で教育が実施されており、かつ適切な教材を用いて、成績評価基準に基づき成績評価が行われている。
	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という)の授業を行っていること。教育課程の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。	3	職業実践専門課程等の基本情報 (別表様式4)、学校案内パンフレット、HP、プレスリリース、オープンキャンパス資料	基準は満たしている。学科ごとに企業等と連携した授業(TFL、TSIホールディングス、ニューローブ、その他アパレル各社等)及びインターンシップにおける取得単位数を具体的に設定している。その他にも年間30件以上の産学連携プロジェクトに取り組み企業と連携した実習等を強化している。
3.単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材層を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む)	3	高等教育の修学支援新制度に係る 確認申請書、学則	基準を満たしている。卒業認定方針は、学科・コースごとに定め、卒業認定が実施されている。

	を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき、卒業の認定をしていること。			
4.学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の取得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	3	高等教育の修学支援新制度に係る確認申請書、職業実践専門課程等の基本情報（別表様式4）、学生のポートフォリオ	基準を満たしている。学科ごとに卒業作品制作についてのガイドライン（目標）を設定し、目標達成に向けて適切に運用できている。
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	3	就職実績報告書、学校案内パンフレット、HP、教職員会議資料	基準を満たしている。キャリア支援課が中心となり、学生の進路指導及び就職指導や個別相談に取り組んでおり、2025年度の就職率は97.5%を達成している。

【項目3】 学生の受入れ学生支援

小項目	評価の基準	自己点検評価	エビデンス等	状況説明 課題及び今後の改善方策等
1.学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	3	高等教育の修学支援新制度に係る確認申請書、学則、募集要項、学校案内パンフレット、HP、選考における実施体制、選考結果資料、入試面接評価表	基準を満たしている。入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定している。
	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。	3	高等教育の修学支援新制度に係る確認申請書、学則、募集要項、学校案内パンフレット、HP	基準を満たしている。直近3年にわたり、すべての学科で定員充足率5割以上を満たしている。

2.自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	3	シラバス、学修状況の把握や補習授業の実施状況等がわかる資料、入学前課題、学習の手引き（動画資料）	基準を満たしている。入学前教育は希望者に3教科実施。また入学後は希望者対象に3Dモデリスト特別ゼミやSNSゼミ、ポートフォリオ特別セミナー等を通して学生の自主的な学習を支援している。補習授業はその都度必要に応じて無償で実施。単位修得に向けての学習成果の向上や学習に対する支援も個別指導を実施している。
3.多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	3	募集要項、留学生在籍管理資料	基準を満たしている。教職員は外部セミナーに参加して多様な学生に対する対応スキルを学び、十分に理解したうえで、障害のある学生、留学生、社会人経験者に対して、その都度必要な個別支援を行っている。
	②特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路（就職）指導を行うとともに、日本人学生とも交流の機会が確保されていること。	—		外国人留学生キャリア形成促進プログラムの認定を受けていないので、評価項目対象外。
4.学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	3	学生面談記録、担任制による常時相談できる体制、学習支援者専用LINE	基準を満たしている。担任制による常時相談できる体制のもと学生がコミュニケーションをとりやすい環境づくりに取り組んでいる。カウンセラーは以前契約していたが現在は事情により見合わせている。学生が予約可能な相談室については26年度中に設置予定。
	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3	退学者防止の取組記録、退学状況の分析と対策記録、学生面談記録、個別面談シート	基準を満たしている。退学希望者及びその保護者との面談を綿密に行い、休学や転科等も選択肢として適切に対応している。
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、	2	健康診断案内、再検診の案内記録	概ね基準を満たしている。現状学校保健計画は未策定なので26年度中に策定する。年1

	適切に運用していること。			回の健康診断の実施等健康管理体制は適切に運用できている。
	④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	募集要項、学費減免規定、奨学金説明資料、公的奨学金制度説明書、クラスルーム発信記録	基準を満たしている。国の修学支援新制度や当校独自の奨学金制度、企業が運営する奨学金制度等支援体制を充実させている。
	⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、適用していること。	3	就職対策授業、就職ガイドブック、就職活動年間予定、企業説明会案内文書、就職サポート実績	基準を満たしている。キャリア支援課が中心となり学科別、職種別指導やサポートを実施。また教職員と連携をとりながら個人の特性や資質に合わせたマッチングを適切に行っている。

【項目4】教育実施組織・教員

小項目	評価の基準	自己点検 評価	エビデンス等	状況説明 課題及び今後の改善方策等
1.教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するために必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適切に運用していること	3	教職員の採用方針（内規）、教員募集案内（求人票）、資格要件等の採用基準	基準を満たしている。教職員の採用方針を定め、その都度求めるスキルやキャリア、人間性を含めて、1次面接2次面接で厳格に人選を行っている。
	②教員の常勤・非常勤・年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	3	教員名簿、教員の授業分担、時間割等の担当する授業時数等がわかる資料、実施体制組織図、学校基本調査、実務経験者一覧、授業アンケート、目標評価シート	基準を満たしている。毎年度の授業計画により把握できている。また目標課課制度により、教員の専門性や教授力についても把握・評価できている。非常勤講師についても授業アンケート結果で評価している。
2.教員の組織・編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規定等で定めていること。	3	教員組織図、業務分担表、教職員会議議事録、講師会資料	基準を満たしている。教職員組織図を毎年更新し、業務分担、責任体制を明確にしている。

	②教員間で連携、協力体制を構築していること。	3	教職員会議議事録、各種報告書（プロジェクト、産学連携等）、プロジェクト業務分担表、講師会資料	基準を満たしている。毎月1回の学院会議、年1回の職員会議、講師会等を通して情報の共有化を図っている。
3.教員の資質向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行う f d (Faculty Development) などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	3	自己啓発支援制度、研究成果褒賞制度、社外研修等の参加案内メール、ファッションビジネス学会発表資料	基準を満たしている。毎年ファッションビジネス学会全国大会で教職員が研究発表することを奨励し褒賞制度も設けている。
	①-2 特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。	3	職業教育協定書、職業実践専門課程（別紙様式4）	基準を満たしている。当業界にはコンサルタント等専門的事業者は存在していないため、高頻度で実施している産学連携特別講義等を通して、教員の資質（発揮能力）向上に継続的に取り組んでいる。
	②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修等を企業等と連携して、組織的に行っていること。	3	大専各新任研修終了証、公正採用選考人権啓発推進員研修修了証書	基準を満たしている。専門性の向上や新任教員の基礎研修等外部機関と連携した研修に取り組んでいる。

【項目 5】 教育環境

小項目	評価の基準	自己点検 評価	エビデンス等	状況説明 課題及び今後の改善方策等
1.教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備・機械器具等を備えていること。	3	各種設備・教育備品の一覧表、管理体制の組織図、教室配置図、時間割（使用教室）、学校案内パンフレット、HP	基準を満たしている。現状、服飾専門教育に必要な施設、設備、機械器具等は十分に備えている。
	②学生の学習支援のための施設（自習室等）を整備していること。また学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	3	教室配置図、時間割、学校案内パンフレット、HP	基準を満たしている。特に休憩や食事のためのスペースとしてカフェテリアを整備。カフェテリアは通常自習室しても活用している。
	③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	3	図書台帳、学校案内パンフレット	基準を満たしている。図書館を設置し、専門分野に必要な書籍を揃え、必要に応じて学生はいつでも閲覧できる。
2.安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	2	危機管理マニュアル、防災訓練実施要項、AED 訓練マニュアル、各種設備の定期点検票	概ね基準を満たしている。学校における安全対策に関しては適切に行っているといえるが、学校安全計画については未整備のため、26年度中に策定する。
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	3	防災・避難訓練実施要項、消防計画、防災マニュアル、災害時マニュアル、気象警報による休講等の取扱いガイドライン	基準を満たしている。年1回全校生と教職員を対象にした消防避難訓練を実施し、マニュアル等も整備している。
3.施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	3	定期点検の記録、電気設備点検記録報告書	基準を満たしている。マシンやパソコン等の設備も定期点検、補修を実施している。
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	3	年度概算予算書、リノベーション計画書、リノベーション実施報告書、点検・修繕の記録	基準を満たしている。次年度の子算計画を立案する段階で、更新の緊急性・必要性と経営状態を鑑みて計画的に措置し実施している。

【項目 6】 教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	自己点検 評価	エビデンス等	状況説明 課題及び今後の改善方策等
1.中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的内容が位置付けられていること。	2	専修学校設置認可等に関する提出書（新学科・新コース）、学校案内パンフレット、募集要項、HP	校名の刷新にあたり、ブランドプロデューサー学科の新設やファッションクリエイター学科内のコースの再整備等を行っている。
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	3	財産目録、貸借対照表、事業活動収支計算書、事業報告書、理事会議事録、教職員会議資料、資金運用計画書	基準を満たしている。必要かつ十分な財務基盤は確立できている。さらに、余裕資金運用計画を策定し、証券会社大手と連携の上、インフレ率を上回る運用を開始。分配金の獲得により第二・第三の収益源とするための運用に適切に取り組んでいる。
2.学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）	3	組織図、理事会会議規則、理事会・評議員会の議事録、学院会議議事録、プロジェクト報告書	基準を満たしている。学校運営のルールは整備されており、会議等も適切に開催され、議事録等も整備されている。特にステークホルダーに対する情報開示に注力し、透明性と公正性を重視した組織運営を実施している。
3.学校評価の実施と改善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専門学校での運営やその改善・向上において活用していること。	3	自己点検評価報告書、学校関係者評価委員会報告書、学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録	基準を満たしている。年2回開催し、委員の意見を聞きながらその都度改善・向上につなげている。
	①2 特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	3	教育課程編成委員会議事録、職業実践専門課程（別紙様式）	基準を満たしている。年2回開催している。
	②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3	自己点検評価報告書、学校関係者評価委員会報告書、学校関係者評	基準を満たしている。エビデンス等にも記載している通り、各種報告書等の全情報をホー

			価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録	ムページ上に公開している。
	③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	3	学校評価の各種結果報告書	基準を満たしている。結果に基づいた改善に向けて組織として実施している
4.社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	3	プレスリリース、HP、学校案内パンフレット、職業実践専門課程（別紙様式4）自己点検評価報告書、学校関係者評価報告書、	基準を満たしている。エビデンス等にも記載している通り、多様なメディアや報告書を通して積極的に公表している。
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況に関連する教育機関、産業界をはじめ、社会全体からの理解を得るように取組んでいること。	3	プレスリリース、年間行事予定表、教室利用記録、地域連携活動記録、SNS 配信記録	基準を満たしている。特にプレスリリースを強化し、活動状況を適時公開報告することで、社会全体からの理解を得られるよう取り組んでいる。